

令和6年度 新技術農業機械化推進研修

精密農業・自動化コースⅡ（ドローン・アシストスーツ）

令和6年10月29日（火）

（定員：10名）

（研修のねらい）

農村の高齢化、農家人口の減少等の課題に対する技術として、ロボット技術やICTを活用した超省力生産技術が注目されている。本コースでは、ドローンの農業分野への利用とアシストスーツについての理解を深めることを目標とする。

（受付場所：水戸ほ場玄関）

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
10 / 29 (火)	午前	9:45～ 開講式・オリエンテーション		水戸ほ場 第1研修 室
		10:00～11:00 （仮）農業へのドローン利用の現状と 課題（講義） （講師：農研機構 農業環境研究部門（予 定））	（仮）リモートセンシング技術 を利用した農業の可能性につい て	”
	11:00～12:00 （仮）ドローン（マルチローター）を 利用した病害虫防除について（講義） （講師：未定）	（仮）無人航空機による空中散 布における制度の現状と今後の 動向、法規制関係、ドローン活用 事例（茨城県）について	”	
午後	13:00～14:30 （仮）ドローン飛行（実演） （講師：未定）	（仮）飛行実演	実習ほ場	
	14:30～16:00 （仮）農作業アシストスーツの説明及 び装着（実演） （講師：未定）	（仮）農業現場における中腰作 業や重量物運搬作業等において、 腰部への負担を軽減するアシス トスーツ	第1研修 室	
		16:10～ 閉講式		”

注：1 日程の一部を変更することがあります。

2 最少実施人数：3名